

## 令和3年度第2回栗橋公民館運営審議会開催結果（概要）

日時・・・令和4年2月17日（木）、10時～11時30分

場所・・・橋野ふれあいセンター和室

出席者・・・遠野健一委員、舞良昌孝委員、八幡裕子委員、川崎通委員、川崎悦三郎委員、平野課長（まちづくり課）、佐々木主幹（まちづくり課）、菊地主査（栗橋公民館）、栗澤厚博館長（栗橋公民館）

始めに栗橋公民館運営審議会委員が令和4年1月1日から新たな委嘱期間となることから委嘱状の交付を行った。

その後、栗澤館長が運営審議会の開会を宣言。委員7人中5人が出席しているため同審議会が成立していることを報告。

遠野健一委員が議長となり会を進行した。

### 【協議1】令和3年度釜石市立栗橋公民館運営経過及び課題について

- ・令和3年度釜石市立栗橋公民館運営経過及び課題について事務局が資料に沿って説明。

### 【結果】事務局報告のとおり承認された。

#### 【主な発言】

**舞良委員**：コロナの感染予防対策を第一に考えておりましたので人が集まるような行事はほとんど中止になりました。そのような状況の中でどんぐりの植樹やそば打ち体験など規模を縮小してではありますが実施できて良かったと感じています。特にそば打ちに関しましては橋野町の水車を使って粉を挽く体験もできました。子どもたちにとってとても良い体験が出来ました。

**遠野議長**：ビデオ鑑賞会やボッチャに参加した。新しい企画でとても良かった。地域の人たちがコミュニケーションをとる機会が減っているのでこのような取り組みが大事になってくると思う。

**川崎通委員**：交流する場が不足しているのでこのような取り組みがどんどん行われると良いですね。

**八幡委員**：中村公民館で百歳体操の後にボッチャを3回くらい体験した。高齢者でも親しめる良いスポーツと感じた。

**遠野議長**：各地区で行われている百歳体操を核にしてさまざまな活動に繋げていければいいのではないか。百歳体操は一人暮らし老人のコミュニケーションの場になっている。公民館には交流・ふれあいの場を作ることに期待する。

**八幡委員**：どんぐりの植樹について、どんぐり以外の樹木はどうか。モミジとか。

**川崎悦三郎委員**：以前はどんぐりから苗を作つて植えていたようだが、和山という地域は自

然環境が厳しくどんぐりくらいしか育たないようだ。

#### 【協議 2】令和 4 年度釜石市立栗橋公民館運営計画の概要について

- ・令和 4 年度釜石市立栗橋公民館運営計画の概要について事務局が資料に沿って説明。

【結果】事務局提案のとおり承認された。

#### 【主な発言】

**川崎悦三郎委員**：パソコン操作なんでも相談というのは人を集めて行うパソコン教室ではなく個別に操作方法について相談するものようだが、教室スタイルもいいのではないか。

**平野課長**：他地区の公民館ではスマートフォン教室なども開催している。コロナワクチン接種の予約に関しても電話で申し込むよりスマートフォンのラインアプリで申し込んだほうがスムーズに予約でき、キャンセル待ちの申し込みもできる。高齢者向け事業としてニーズがありそう。

**遠野議長**：橋野鉄鉱山学習会を充実したい。橋野鉄鉱山は栗橋地区の宝ですから、地域の人々が 1 年に 1 回は橋野鉄鉱山を訪れる機会を提供する事業を実施したいところ。

事務局・・・委員から提案があったことについて、事業実施に向けた検討を行っていきたい。

#### 【協議 3】その他

- ・委員から特になし
- ・事務局から特になし

以上で予定した協議がすべて終了。遠野議長が審議会の閉会を宣言し終了した。